



## OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

## LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう R.I 会 長 James L. Bomar Jr.

### 例会 1980 年 4月 10日 (木) 90 晴 第95号 第

### 出席報告

会	員	数	出席	数	出	席	率	前回の修正
30 名			26 名		86. 67 %			96. 67 %
欠	席	者	木崎,	中西,	高山	,	保田	

ゲスト

小堀憲助氏



上坂信夫君(東京港南),小菅徹君(藤沢北西), 高寿昌良君(横浜田園),星幸男君,吉利正勝君, 佐藤孝君,岩田章君,花岡正君(大和),片野光 章君(座間)

- 。当クラブ推薦 金 昌男君(韓国)米山奨学記 念学生として築波大に留学します。よろしく。
- 。座間RC 10周年記念式典には先輩ロータリア ンとの親交を深めるためにも多数ご出席下さい。

# 

- 。 4月12日出 6:30 p.m. さがみ野におきまして、ぼ ぼたんの会が開かれます。ご参加下さい。
- 。例会後,定例役員会を開催します。

座間ロータリークラブ 片野幹事 ご挨拶 皆さん今日は、貴重なお時間を戴き恐れ入りま

## 芦田会長テーマ 友

### 芦田会長 司会

す。4月20日(日)キャンプ座間におきまして10周年 記念式典を開催いたしますのでど案内に伺いまし た。兄弟クラブの間柄でもご座居ますし、私達も 心からご接待申し上げるべく頑張っております。 皆様のご出席をお待ち申しております。

有り難うご座居ました。

## 国際奉仕委員会 郡司委員長

- 。研究グループ交換出発、メッセージを託したい 方は、13日までにお申し出で下さい。
- 4月18日金高速道路見学会はストも予測されま すが, 今の所変更はありません。

## 親睦活動委員会 布施委員

- 。お誕生日 高山正雄君(4月12日), 入会記念 日 竹之内弘美君。保田 達君(54年4月12日) バーナー交換 藤田会員
- 。先日 高岡西RC メイク・アップ 温かく迎 えて下さり、荻布さんから皆様によろしく。

本日のプログラム 4月17日

「世界社会奉仕計画について」 地区委員長

次週予定 4月24日

「雑読週間にあたり」 鈴木久次郎君

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か

例 会 場

- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

**事務所**: 大和市中央1-5-40 及び

大和市商工会館内 電話0462(63)7926 例 会 日 毎週木曜日12時30分より

副会長

## 「ロータリーとは」 (その6)

### ゲストスピーカー 小堀憲助氏(川崎北RC)

本日はお招きを頂き有難うご座居ました。通年6回目のお話しという事であります。最初の2回は歴史について3回目はクラブ奉仕,4回目社会奉仕,5回目国際奉仕,一寸ロータリー財団について述べる時間がなくなってしまい何れ補講することに致しまして,6回目本日は職業奉仕についてお話しを進めて参りましょう。

職業奉仕とは可成り難しいので一時間でお話し 申し上げることが出来るか、心もとないのですが 今日来てみますと先週のクラブフォーラムでの寺 田職業奉仕委員長のお話しに接し大変嬉しく思っ ているのです。寺田さんのお述べになりました事 は、職業奉仕論の中核の分部でありあそこを除い ては職業を奉仕とみる事は出来ないのであります。

大和中クラブに寺田委員長さんのような方がお られます事, 私は一ロータリアンとして誇りに思 うわけであります。

10年程前までは職業奉仕はロータリーのロータリーたる所以であるとはよく言われたところでありましたが、私もその頃はまだ駆け出しのロータリアンであり、その言葉を鵜呑みにしておりました。しかしこれを本質の場で捕えますと、国際ロータリーは浮気ものでご座居まして昨今では青少年奉仕、3Hプログラム、75周年記念等々その主なテーマは世界社会奉仕の方に移ってしまっているのです。

この様な時に大和中クラブの寺田委員長さんの様な職業の本質を理解しておられるロータリアンがいらっしゃるという事は心強い限りであります。こと10年位の日本全国の職業奉仕をみておりますが、職業奉仕がロータリーのロータリーたる所以であるとするならば奇妙奇天烈なことが一つご座居まして、ひと頃の大和クラブそして先週の大和中クラブを除きまして開店休業になっております。何処のクラブも職業奉仕というものがわからないばかりに活動のしようがないのです。そこで優秀

従業員の表彰でもやろうか, という事になるのです。一寸ご注意頂きたいのは従業員はロータリアンではないのです。

職業奉仕と申しますものは、ロータリアンの親 睦のエネルギーを自分の企業管理の場に適応する、 自由競走の最中にあって企業がその圏外に立ち、 安定した純益を得ることであります。従って職業 奉仕の直接的な物質的な受益者と申しますのは、 ロータリアン自身なのであります。ロータリアン を富ましむる奉仕の実践パターンであるが故に破 産をしてしまえば職業人は社会的基盤を失うこと になります。 そこで職業奉仕を実践してさえい れば資本主義社会の厳しい流れの中にあって安定 した利益をもって報いられるから、ロータリアン は自已防衛の手段として職業奉仕を一番大事にし ないとクラブ例会にも出る事が出来なくなってし まうよと先輩ロータリアンは自分達の実践を示し ながら範を垂れて呉れたのです。

話しを元に戻して優良従業についてもう少し述べて参りましよう。ロータリアンでない人達に或る種の功徳を与える奉仕の実践類型パターンのことをロータリーは古くから社会奉仕と呼んでいるのです。ですからこの事は職業奉仕ではなく社会奉仕なのです。又工場見学なども多くのクラブで行ってまりますが、これも職業奉仕には関係はなく親睦活動というべきでしよう。

世の所謂職業奉仕委員会のいろいろな活動は,職業奉仕の適切な活動にはなってはいないのです。では四つのテストの提唱は如何でありましようか。これは職業奉仕の提唱に近いのですが,理論の提唱は実践活動と違うのです。実践活動とは企業管理の現場で,我々は社長族の集りでありますから,従業員と対応する時,どういう立場で接したら職業奉仕の実践になるのか,それからお客様に物を売る時に,売りつけよう、売りつけようとしますか。どういう遺り方をしたら一つの商取引きが,これは細やかなことですが物をお客様に売ってお金を頂戴するだけで,それが終ると法律的な関係は終り,また赤の他人に戻ってしまうのです。これが商取引の非常に果敢無い所ですが,その一つ

の瞬間を捕えられてお客と商人との間に生れる信 頼と呼ばれる部厚い結び目、物を売る時には物と 満足をお売りする、お金を頂戴する時には、お金 と感謝を頂く、ここに信用が出来上るのです。こ の信用のお蔭げで資本主義社会の自由競走におい て職業人は、ロータリアンとロータリアンでない 人の間に信頼と呼ばれる保護膜を作っていく。こ の作業はお医者さんの場合にもいえる事でして, 自分の医療行為の本質に則り、その患者さんの尊 い生命を守るんだという事に徹した時に患者さん とお医者さんとの間に保険の点数では清算するこ との出来ない考え方が出てくるのであります。こ の事例は藤沢のある若いお医者さんのことですが, 危篤状態にあった少年の診療に夜も寝ずに一生懸 命診つづけたのです、甲斐あって3週後、子供は 先生のお蔭げで命を永らえる事が出来たのでした。 そしてその子供は感謝の気持ちだといって、親か ら貰った小使の貯金¥35,000がある, これを医学 書を買うのに使って下さいと差し出したのです。 これは大切な事ですね。そしてそのDr.は心を打 たれたのです。アリガトウ。先生これから本を買 う時には君のそのお金を使う、そしてどの様な難 かしい患者を診る時にも君のその3万5千円が, わたしの頭を通して診療がうまく行くようにする よと。この様なお医者さんは少なくないのですが、 最近は時に変挺な医者がいて新聞誌上を賑わして いるだけなのです。

何んと申しますか、職業奉仕といいますものについて日本全国のロータリアンは当惑しているのであります。職業とは奉仕ではないからです。皆さんロータリアンだから職業奉仕をやらなければいけないんだ、いけないんだと思っているんですが、その次の瞬間に待てよ の数なら第一に職業は私事に関する事です。自分が自分の人生のコマスを選んで、自分の事は世の為人の為の適切なテーマにならないからです。それでもお医者さんなどは天職だからなあとか諦めの仕方がありますが、デパートの社長だとか八百屋さんなんかになりますと物を商っておりますので所詮、儲けよう

という事になります。入ったお金の中から必要経費を引いて、その残ったお金を自分の財産としておこう、こんなことは如何にしても奉仕のテーマにはならないのであります。

世の中には二つの説があると思われます。一つは職業奉仕とは職業の本質を考える時に、先ず第1にこれは奉仕ではないという考え方。私事で儲けようという事であります、何んでこれが職業奉仕になんかなるのかと云う俗説であります。日本のロータリアンの多くが職業奉仕といいながら何も出来ないのはこの俗説に荷担しているからなのです。

これに対しまして、昔からロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕なんだなどと叫んでいる人達の考え方、実は彼らの中には二重人格の人達が多いのです。ロータリアンの中で一番いい人は誰かといいますと青少年問題にのめり込んでいる大和の星先生みたいな方なのです。そして寺田さんのように自分の天地神明に恥じない信念の心として職業をご覧になっているロータリアンは割り合いに少ないのです。

大多数の職業人にとって、ハッキリ云えば職業は奉仕でない、自分で儲けようという行動、こんなものは世の為、人の為の適切なテーマにならないのです。ところが極く少数の優れた先輩の人達に言わせれば

一世の中そんなことで上手にはいかないよ 一 我々もそんな気持でやってきた時期もある,い ろいろとやって失敗もし成功もし,その経験を通 じて,さて自分の人生に立って,自分の職業はいったい何になんだろうと考えたんだよと,一寸抹 香くさくなるのですが,大体人生も50を過ぎる頃には,こうなるものなのですが,多くの場合,こういう心境になる頃には心も汚れて元に戻れなくなってしまっている人も沢山いるのです,ここで反省をしまして,これから残された人生において自分の職業の第一義は何んであるべきか/こういう立場を取りますと,職業=奉仕という考え方が帰って参ります。労働の場合でも労働を売りそれに対して金を支払うこれを雇用というのです。 所詮は売った、買ったという事なのですが、これ は相手があっての事です。人の心を捕えない売買 は品がないのです。商人が儲に名をかりて悪い事 をやる、便乗値上げをおやりになる。ロータリー たる所以が職業奉仕にある以上ロータリアンであ る商人は商売の名を借りて便垂値上をするようで は情けない事なのです。ある埼玉県での事例であ りますが、例の石油ショックの時、パニック状態 の人達に、品切れにならない様に仕入れるから, 今日必要な分だけにしておきなさい、と諭したの です。所が見込み違いでその後物品の入荷は止っ てしまったのです。そこで, ロータリアンである その店主はご迷惑をお掛けしたとして在庫分を1 個あて無料で与え、お詫びの心を示したのです。 世の中が平静に戻ってからも、この心使いが人々 の心に残ったのでありましよう。以前にもまして 繁盛しているとの事です。

この事例につきましては干種会 小堀先生の卓話 からということで先週のクラブフォーラムにおい て芦田会長より引用紹介がありましたこと申し添 えさせて頂きます。 クラブ会報委員会

そのロータリアンが後日,私の所にこられまして,先生から職業奉仕についてのお話しを伺っていましたので,これを実行したところ,今ではお客の数が3倍にふえたと喜んでおられました。

**奉仕に徹する者に最大の利益あり**ということで しようか。

ポール P ハリスは申しました,ロータリーの職業奉仕の考え方を一言でいうならば,職業人は資本的社会にあっては儲けの金高によって一唇しないことであると。金高によってその人の功績を計るのではなくして,特定の利純を生むが物を生産する時にはお客様のものをお預りしていか物を生産する時にはお客様の立場になって物を作るという心使いがあったかどうかであります。人間関係とは何んでありましようか。これを絵に回く事は出来ませんね,頭の中で考える,質的判断くとか分化現象と申しますが,職業奉仕にもとづませんり、自分の心を絶えず砕く努力なくして出来る

事でもありません。

ロータリーの奉仕の類型パターンの中に、職業をもって奉仕と考える、という考え方がありますが一般人間社会においては奉仕と考えない場合が多く、この2つの立場の1つを取ったに過ぎないのだという事を心に止めておくべきでしよう。

ですから奉仕という立場をとるならば成すべき こと,成さざるべきことを明確にしておかなけれ ばいけません。

このことを古いロータリアンは,**自已と利達の** 調和と述べているのであります。自利を中心にして他意を計る,材料費が幾らかかった,工賃は, 更には管理費は,どの位かかったかを求め商品の 数で割り,そして自分の利益も戴かなければいけません。戴くものはいたゞいてそして商品効果に 名を借りて,それ以上のお金は戴きませんよというこの考え方は,自已と利達の調和ではなく, 自利を中心にして他意を計ることなのです。

調和をさせる為には、第3の概念を立てなければ理解しにくいのです。何にかがあって、それで自己と利達が調和されるのです。何にか、とは何んでしよう。自己と利達の調和論を特に職業奉仕の哲学の根幹におきましても最もよく奉仕する者最も多く報いられるの提唱者であります若干26才の経営哲学者 フレデリック シェルドンは天地の理法と説いているのです。職業奉仕というのは自分の売った買った、労働者を雇って月給を払う、それをもっと奥底でみて、神の秩序大系の中で把握しようということであり、人間関係を尊重するということはこの事なのです。

初期ロータリーが尊い所はこの難かしい原理を 開発したところで、**天地の理法によって自已と利 達を調和せしめる** これがロータリーの奉仕、す なわち職業奉仕の終局の姿なのであります。じゃ 天地の理法は、どの様に認識するものでありまし ようか。皆さん方の目と心で認識する他にないの であります。軽薄な心の持ち主にはわかりません。 地域社会の良質な職業人をもって構成されている ロータリークラブ、良質な人は深い次元で物を見 ることが出来る、高い所が見える、選球性を持っ ている筈であります。その良質な人達が,週1回の例会に参加する活動を通じて,自分の業界ではみる事の出来なかった,先きが見える様になるのであります。商売なんて所詮は売った買った,なんでしようけれどその根底に哲学がなければならないのです。そしてそれを理解するためには自分を砕き,神の秩序大系を明快に認識出来るようになることが必要なのです。その時にはじめて自己と利達を調和させることが可能になってくるのであります。

商人が地域社会のリーダーとして成すべきこと、 成さざるべきことを考え倫理概念を追求し、人間 関係のあるべき姿を認識しながら、ソロバン勘定 のことから企業管理そしてこれを自分がマネージ するんだという心構えが整った時に職業をもって 奉仕と考えることが出来るようになるのです。

片方の脚をソロバンの上に置き,片方の脚は神の摂理に耳を傾ける世界,ロータリーはこれを人間関係尊重と簡単にかたづけておりますが,おわかりになりましたか。これは努力しなければ出来ない事ですが,人生,真面目に生きて50を過ぎる頃には自からわかって参ると思います。

これがわからないところが, 高度成長時代のい けない点なのです。この10何年間の高度成長を通 じて企業経営者は儲けの金高に酔いしれて、良質 な思考の発想を忘れてしまったのです。人間は一 人では生きていけない、皆で力を合わせなければ ならないのです。一つの商品を商います時に、心 と心がびしゃっと繋がらなければ、こういう商法 を開発することなしに、自分の事業を永続的に繁 栄させることは出来ないのです。最近の商人は行 き摺りのお客を相手にして商売をしますが、これ はくだらない高度成長時代の遺物とお考え下さい。 不信用なことをすれば、信頼が無くなります。こ れをお金で如何に評価しましようか?, 商人が目 先の儲けに目がくらみ、人と人との心の結び目を、 ポント溝に捨てる様なことがあってはいけないの です。

自分の私的利純追求の行為を通じて 同時に社 会的責任を履行することの出来る商人、つまり職 業奉仕の実践を行っている商人である,という事が出来るのです。可成り禅学者めいたお寺でお説教を聞いているようなことになってしまいましたが,職業奉仕論とは,その所に頭を突込まないと理解が進みません。

会社の社長の心が,電話の交換手と同じであり 交換手の心が社長の心と同じである,分身論とい うものです。千手観音,仏の慈悲の心で全人類を 救いたい,という事であり、事務員は、事務の仕 事を行ってはいますが、社長の分身としてやって いるのであります。

ロータリーの職業奉仕論と申しますのは,企業 内管理に於いて,人心を収攬し,その機能を果す ことなのです。大将は二等兵であり,二等兵はま た大将である,こういう企業内管理を作る事は可 能でありましよう。

自分独りの力を過信してはいけないのです。ロータリーは、人と人との関係を尊重するのです。

多勢の人達が職場におりましても,分身の関係 において結ばれているのであります。

**最後に二つだけ**申し上げておかなければなりませんが

どんなに、ロータリアン偉そうな事をいいましてもロータリアン相互の間で出来ることは発想の 交換しかありません。

職業奉仕委員会はその奉仕の事業に対しまして は団体奉仕のプログラムを組むことは出来ません, 独り独りの既におやりになっているものを皆でわ からない所を、神様じゃありませんから、自已と 利達の調和、神の哲理など、なかなかわかるもの ではありませんので、そこを求めて皆の知恵を寄 せ合おうという、これがロータリークラブの活動 なのです。

ですから、ロータリークラブにお集りになる時には、人間関係を尊重する立場から自分の職業を処理していこうという、いろいろの問題点について、週1回の例会だけでは無理ですから炉辺会合を開くとか、発想が自由に交換出来るようにしたいのです。お互に学ぶ心をもつことです。相互に同じ等質の人達が、お互に与え合うものを持って

いる。これがロータリー運動の本質ですから。職業奉仕に関しまして団体奉仕はあり得ないのです。個人奉仕のどれかをクラブが事業計画の中に取り組むことを考えなければいけないのです。これが第1点であります。

それから最近、もっと重要なことは職業をもって職業奉仕と申しますのは、ロータリーがあって存在するのではないのです。ロータリー独自の社会奉仕、ロータリー独自の職業奉仕などというものはないのです。ロータリーが生れる以前から職業については二つの対立があったのです。そしてロータリーはその一つを取ったに過ぎないのです。

もう一つの職業は私的利純追求の問題なんだと 考える考え方が、世の中の通説なのです。そんな 浅い所ではなしにもっと深い時点でこれを捕えよ うというのが職業奉仕の立場なのです。

1930 年 不況時代,倒産の続出する世の中にあって,潰れない業界のグループ,彼らは,ギヤーのマークを着けていました。そして彼らは自負を持っていたのです。我々はロータリアンであるが故に地域社会の一般的な職業感を持ってはいけないんだと。商業は所詮売った買ったなのですが,その元に人間関係が存在するのであります。

実はロータリーが職業奉仕を開発したばかりにアメリカの経済パニックは生き返りました、フランクリン ルーズベルト大統領の経済機構の中に指導的ロータリアンが職業奉仕論を持って入り込むわけであります。この頃がロータリーのハイライトなのです。そのうちにロータリアンは名声を博し信用を得て大変結構だったのですが1945年以降ののロータリーは政治に密着したるが故に甘い汁を吸い見る影げもない程に零落してしまったのです。

日本の戦前のロータリアンは明治の武家商魂を持っていましたから、職業奉仕は非常な力をもっていたのです。戦後の高度成長期における金高によって安心をするという商人の特有な心理状態のなかからロータリーの中でも職業奉仕は壊滅状態になってしまったのです。しかし今からでも遅くはないのでありまして、職業を本質の世界で見て頂きたい。ロータリーに関係なしにその本質を見

極めて企業管理をやっておられる方も少なくありませんので、その中で親分格の一業種から一名だけロータリークラブのなかに参加してもらおうというのがロータリー運動の使命なのです。

で既にそういう躾を持った人達が、例会でお互に切磋琢磨し、そこから出て来る抜本的な良質なエネルギーが社会の指導的職業人としての活動力となるのでありましよう。

この様に致しましてロータリーは,1915年には職業倫理訓を宣言いたしましたし,1931年にはシカゴクラブのロータリアンが四つのテストとして職業奉仕の理念を提唱いたしました。今日は時間の関係でその細かい意義のある内容について解説することは出来ませんが,ロータリアンとは独占的職業感ではなくして職業を人間関係の本質の場で捕える極めて宗教的,倫理的,哲学的な七面倒くさい融通のきかない,そういう立場を探究しようとする一つの良質な職業人の社会運動なのです。というところで私の年間6回に及ぶ話しを終えさせて頂きます。有り難うご座居ました。

## スマイルBOX

横浜田園RC 高寿会員、お世話になります。 藤沢北西RC 小菅会員、お世話になります。 大和RC 星会員、桜前線が北上し、春らんまん、 今日このごろですが大和中ロータリーの皆 様は何時も元気で我満足である。

大和RC 吉利会員 お世話になります。先日は 写真を届けていたゞき有難うございました。 大和RC 花岡会員 よろしく

座間RC 片野会員 いつも御世話になります。 特に当クラブ10周年記念式典には多数の御 登録をいたゞき誠に有難うございます。

藤田会員 創業を祝って頂いて有難う存じます。 石渡会員 家内の誕生祝頂き有難う御座います。 竹之内会員 入会して,はじめての入会記念をい ただき有難うございます。

藤田会員 先週は父親の法事で帰省致し、高岡西 RCにて、メークアップをして参りました。

(以下次週へ)